日本共産党
名古屋市議団
市政ニュース
2014年5月16日
No.314
http://www.n-jcp.jp
名古屋市中区三の丸三丁目１－１
電話052(972)2071　FAX052(972)4190
発行・日本共産党名古屋市会議員団

５月臨時議会(5月16日) 請願討論　岡田ゆき子議員

「公立保育所を減らさないで」の請願が不採決に

5月16日の臨時会本会議で請願５件について採決が行われ、岡田ゆき子議員が「公立保育所の廃止・民間移管計画を凍結し、これ以上公立保育所を減らさないことを求める」請願について採択を求める討論を行ないました。その内容と結果を紹介します。

公立保育園の存続は多くの親の願い

採択を求める第１の理由は、公立保育所の存続は多くの親の願いであるからです。昨年名古屋市が行った「子ども・子育て家庭意識生活実態調査」の結果では、３才未満児の保護者が利用したい保育サービスは、公立の認可保育所が26％と一番多く、次いで民間の認可保育所となっています。

この結果をみても、親たちの公立保育所を求める声は大きいことを名古屋市はしっかり認識すべきです。

公立保育園の拡充こそ市の仕事

第２の理由は、子育てに困難を抱え、支援が必要な子どもや家庭にとっては、家に近い公立保育所に入所できることが重要ですが、公立保育所の数を減らし集約化してしまえば、必要な支援が受けにくくなると考えるからです。今ある118ヶ所は減らさず、公立保育所のないエリアにも公立保育所を建設すべきです。

公立保育所削減の最大理由は、国が2004年から公立保育所の運営費や施設整備費を一般財源化したことにあります。

しかし、名古屋市が本気で少子化に歯止めをかけ、「子育てするなら名古屋で」を掲げるのなら、今、やるべきことは、公立保育所の削減ではなく、国に対し、本来国が負担すべき補助金を拡充せよと強く求めることではないでしょうか。

公立保育所の廃止・民営化計画を凍結し、今を生きる名古屋の子どもと親たちが、どこにいても安心して子どもを生み育てる環境を守っていくために本請願の採択を求めます。

自公民と減税などの多数で不採択に

採決の結果、自公民に減税と諸派もふくめた多数で不採択になりました。

請願の結果（2014年5月16日本会議）

（請願番号）請願名	各会派の態度																結果	備考
	共	自	減	公	民	民政	維新	八風	名市	市民	市志	庶民	改革	無ク	民和	政和		
(平成25年第20号)市道弥富相生山線の建設について、公正な住民投票を求める請願	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	打切	おおむね趣旨実現
(平成26年第1号)公立保育所の廃止・民間移管計画を凍結し、これ以上公立保育所を減らさないことを求める請願	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択	
(平成26年第2号)「名古屋市議会の解散請求に係る署名簿及び受任者名簿の目的外使用に関する決議」の撤回を求める請願	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●	●	不採択	
(平成26年第3号)市道弥富相生山線建設に関して、行政と市民の話し合いの場を開催することを求める請願	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	打切	おおむね趣旨実現
(平成26年第4号)市道弥富相生山線建設についての検証を求める請願	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	打切	おおむね趣旨実現

○＝賛成　●＝反対　▲＝打切　×＝棄権　　共：日本共産党　　自：自民党　減：減税日本ナゴヤ　公：公明党　民：民主党　諸派:11会派14人（民政クラブ・一貫正義、名古屋維新の会、八風の会、名古屋市民クラブ、市民クラブ、減税日本　市志の会、減税日本　元祖・庶民革命、地方分権改革会、無所属クラブ、民和会、政和クラブ）

口利き防止条例が可決

２月議会で継続審査となっていた「名古屋市職員の公正な職務の執行の確保に関する条例（口利き防止条例）」が、5月16日の臨時会で、施行日を実態に合わせて修正、附帯決議を付して全会一致で可決されました。

自民議員2人（伊神市議・横井市議）が退席しました。